

氷見の自然を守る

- 1 自治体名： 富山県
- 2 発表者名： 竹原麻衣（Mai TAKEHARA）、浅野志帆（Shiho ASANO）、
高田昌代（Masayo TAKATA）
（富山県立有磯高等学校 農業科学科 1年）
- 3 活動名： 氷見の自然を守る
- 4 活動期間： 2005年4月～現在
- 5 活動場所： 十二町瀧水郷公園、氷見市長坂字前田 598、氷見市長坂馬場出 279、氷見市老谷 1249、氷見市上久津呂字古宮 1621、氷見市粟原字湊 1000、氷見市戸津宮など
- 6 活動人数： 毎年、約 10 名
- 7 活動をはじめた経緯：
氷見市は気候や地形、植生などの自然環境において、県内では大変特異性が見られ、国などが指定する貴重な植物などが数多くある。
しかし、その貴重な植物が枯死、減少、絶滅の危機に瀕しており、私たちはこの現状を何とかしたいと思い、保存、増殖活動に取り組むことにした。

8 発表要旨：

富山県氷見市の十二町瀧には国指定文化財の「オニバス発生地」があるが、国指定文化財の指定取り消しが検討されるほど 20 数年間オニバスが発生していなかった。何とかオニバスを発生させたいと思い、地域の方々と協力し環境づくりに努めてきたところ、3 年前から指定地以外ではあるが発生が認められるようになった。このことから現在、発生の要因を解明するため発生地の株数調査、生育調査を行っている。

また、氷見市長坂には「ツバキ、タブノキ（県指定文化財）」、氷見市老谷に「ツバキ」、氷見市粟原に「サクラ」、そして氷見市上久津呂には世界で唯一の品種として認められた「サクラ（市指定文化財）」が存在する。これらの県指定、市指定の文化財の樹木はいずれも老木になり、次世代への後継樹の育成が急務となっている。そこで、個体に影響をあまり与えない実生や、さし木により増殖を図っている。

さらに、氷見市戸津宮には、貴重な「ハナイカダ、ツクバネ、ムクロジ」などの植物が存在する。これらの植物についても実生や、さし木繁殖などにより増殖に努めている。また、「ムクロジ」の実で天然の数珠を作り、環境に配慮した商品についても普及を図っている。